



国中だより

一中ホームページ：国立市HP→国立市立小中学校へアクセス

国立第一中学校
学校だより
平成30年度4月号
4月13日（金）発行



新年度が始まりました

校長 山上 真哉

お子様のご入学おめでとうございます。平成30年度、新入生119名を新しく迎え、国立第一中学校は新たにスタートしました。今年度新しく校長になりました、山上真哉です。昨年度まで本校の副校長として約6年間お世話になっておりました。今後は伝統ある国立第一中学校の校長として、精いっぱい努力してまいりますので、何卒ご理解、ご協力よろしくお願ひいたします。

4月6日の始業式で、2、3年生の前で新しく校長になった山上です、昨年度まで副校長でした。これからよろしくお願ひします、と挨拶をさせていただきました。生徒たちからは笑顔いっぱい温かい拍手をもらい、本当に嬉しい瞬間でした。私のあいさつで、昨年、始業式の日、用務の堀江さんが突然亡くなった話をさせていただきました。堀江さんは生徒が大好きで、生徒のために労を惜しまずに働いてくださったことや、生徒が気持ちよく登校してもらえるようにと、桜の花びら掃きを毎日行ってくれていたことを報告すると、数日後からたくさんの生徒たちが率先して朝、ボランティア活動を行ってくれた話をさせていただきました。

このように、人のために気持ちよく働くことができる生徒があふれる学校になってもらいたいという願ひを生徒に伝えました。

4月9日は国立一中の72回目の入学式が行われ、私の経験から頑張ることの大切さについて話をさせていただきました。これから始まる学校生活すべてにおいて、仲間とともにぜひ有意義な毎日をしていただきたいと思います。

<学校教育目標>

「たくましい、心豊かな人間」を目指して、自ら課題を見付け、探求し、解決する力を身に付けた生徒を育むために次の目標を設定する。

1. 自ら学び、考え、自主的な行動をしよう。
2. 豊かな創造性を養おう。
3. 思いやる心をもとう。
4. 健康な心身をつくろう。



《30年度の目標》

「共生社会に向けた「共学」（共に学ぶ）、「共感」、「共育」による学舎の創造」

<30年度の学校経営の重点>

(1) 確かな学力の向上【共に学ぶ「共学」】

- ①特別支援教育の視点に立った授業実践に取り組むとともに、一中の「交流及び共同学習」を積極的に推進する。
- ②生徒の学びの室を高めるため、指導（計画）の改善や個に応じた指導の工夫等授業力の向上を図りながら、「基礎的な知識・技能」の習得に努める。
- ③各教科、総合的な学習の時間等の学習を通して、問題解決型学習を推進し生徒主体の授業展開を工夫し、生徒の思考力・判断力・表現力を高めるとともに、「主体的な学び」の視点に立ち支援する授業実践を行う。

(2) 心の教育の充実【自他を大切にす「共感」】

- ①規範意識の醸成と公共心の涵養、基本的生活習慣の確立を図る。
- ②道徳教育の充実、ボランティア活動の推進を通して、自尊感情や自己有用感の醸成とともに他者を大切にする「温かい心」を育てる教育の充実を図る。
- ③いじめのない学校、不登校生徒の減少を目指すとともに、「生命尊重」の精神を涵養し、命の教育の充実を図る。
- ④情報モラル教育を推進し、有害情報から生徒を守るとともに、「SNS 一中ルール」の見直しを通し、適切な活用方法について生徒が考える取組を行う。
- ⑤様々な機会を通し、生徒の声に耳を傾けるとともに、スクールカウンセラーなどとの連携を図り、生徒理解に努める。

(3) 特別活動の充実【ともに育つ「共育」】

- ①生徒一人一人が大切にされる温かい学級経営、学年経営の充実を図り、生徒との信頼関係を構築し深める。
- ②限られた時間・準備の中で、生徒が主体となって活動する学校行事を創造する。
- ③学校教育の一環としての部活動等を通して、自主的・自律的運営力の育成を図る。

最後になりましたが、今年度の教育目標を達成させるために、全教職員一丸となって教育活動を推進させていただきます。保護者の皆様方におかれましては、本校の教育活動に関して、ご理解とご協力をお願いいたします。